「未来を創造し、社会に貢献する人材の育成」
令和元年度　柳津町立会津柳津学園中学校

学校だより

令和元年11月22日(金)発行　第　29　号　発行責任者:髙橋　弘悦

がんばった！ふくしま駅伝

１７日、白河市総合運動公園陸上競技場をスタートに、第３１回ふくしま駅伝が開催され、本校から６名の生徒が力走！また、４名の生徒が補助スタッフとしてチームを支え、柳津チーム３１年目の歴史に名をとどめました。

今年のスタートは一般女子４．０ｋｍ。全国的な長距離レースにも参加する選手もいる中、１区を担ったのが１年生の長谷川和葉さんです。これまでにも中学生が走ったことはありますが、１年生が走るのは和葉さんが初めてです。大会全体を見回しても、「１２歳」は最年少でした。

この困難な状況においても、和葉さんは落ち着いた走りを見せ、５３チーム中４７位という素晴らしい活躍をしてくれました。

和葉さんを含めて１年生から３名、２年生から２名、そして受験で忙しいにもかかわらず３年生からも渡部恵人くんが５．７ｋｍを力走…。中学生主体となった柳津町チームで大いに気を吐いてくれました。お疲れ様でした！

【ふくしま駅伝の結果】

１区４．０ｋｍ　長谷川和葉　４７位、　３区５．８ｋｍ　金子　　玄　５１位
７区５．４ｋｍ　岩佐　陽生　４６位、　８区４．１ｋｍ　渡部　広平　５０位
９区３．０ｋｍ　長谷川寧音　４８位、１４区５．７ｋｍ　渡部　恵人　４０位

期末テストです！

来週月曜日は、いよいよ第２学期の期末テストになります。この土曜日、日曜日は、テスト前の実力アップ最後のチャンスになります。こういうときに限って「なぜ勉強しなければならないのか…」という疑問が頭をもたげてきます。

インターネットに、次のような記事を見つけましたので紹介します。

勉強する理由①　「なせば成る」自信をつける

勉強は、努力が必ず報われます。

確かに試験は一発勝負で、どっちに転ぶか分かりません。が、少なくとも努力した分、必ず点数は伸びます。できなかった問題ができるようになれば嬉しいし、点数が上がれば自信になる。高校受験で合格したら、涙が出るほど感激する。

中学生のうちに、そんな「頑張ればできた」という体験をしておくべきだと思います。

勉強する理由②　頭脳（思考力や判断力）を鍛える

サッカー選手は、ドリブルやキックの技術で勝負します。ただし、前提として基礎体力（走力など体の強さ）は欠かせません。

仕事を始めると、それぞれの仕事固有の技術で勝負します。そして、前提として頭脳が鍛えられていること（思考力や判断力などの頭脳の強さ）が大事です。学生時代にどれだけ頭脳を鍛えてきたかで、仕事をするときの基礎体力が決まります。仕事をし始めると痛感するはずです。

勉強する理由③　努力し続ける力をつける

中学生は、勉強や部活動で「努力し続ける力」を養っています。

テレビを見ることもゲームやネットをすることもできる時間に、自分を律し勉強する人は、成績が上がります。「何か成し遂げよう」と思えば、努力が必要。当たり前の話。「努力し続ける力」は、習慣です。自分を律し努力する習慣を持たない人は、いざというときにも努力できないし、力が出ない。

勉強する理由④　可能性（将来の選択肢）を広げる

将来の夢や目標が明確になっている人もいれば、まだ考えたことがない人もいると思います。また、今の考えや夢は変わるかもしれません。将来の可能性は大きく広がっています。予測不能です。いつか「これをやりたい」と夢中になれるものを見つけるはずです。そのとき、何らかの理由で「自分には無理だ」とあきらめざるを得ないようなことがあれば、悲しいことです。

将来の可能性は大きく、予測が難しい。だからこそ、選択肢を多く残しておくべきです。

会津ボーイズ初優勝！

本校生徒も参加している硬式野球チームの「会津ボーイズ」が１０日に行われた県大会で見事優勝に輝きました！最終回でのさよなら逆転優勝です。

優勝を決めたさよならヒットを打ったのが、本校の菊地雅哉くんです。１１月１２日の福島民友に大きく報じられていました。おめでとうございます。